

オフィシャルイベント

Inter BEE 2022

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2022

会 期：幕張メッセ会場：2022年11月16日（水）～18日（金）
オンライン：2022年11月1日（火）～2022年12月23日（金）
会 場：幕張メッセ／オンライン
主 催：（一社）電子情報技術産業協会
共 催：第59回民放技術報告会／全映協フォーラム 2022 in 幕張
後 援：総務省／経済産業省（建制順）／NHK／（一社）日本民間放送連盟（JBA）／
（一社）電波産業会（ARIB）／（一財）デジタルコンテンツ協会（DCAJ）／
（一社）放送サービス高度化推進協会（A-PAB）
対 象：映像・音響制作者、放送事業者、インターネット・通信・照明・舞台・エンタメ・
メディアビジネス関係者
公式サイト URL：https://www.inter-bee.com/

総来場者数（参加数）：26,901人（幕張メッセ会場）
内訳：（国内入場者数（参加数）：26,155人 海外入場者数（参加数）：746人）
総来場者数（参加数）：12,383人（オンライン）
内訳：（国内入場者数（参加数）：12,192人 海外入場者数（参加数）：191人）
出展社数：810社
内訳：（国内出展社数：387社 海外出展社数：423社）
出展参加国と地域数：38の国と地域
プレス社数：186社（幕張メッセ会場） 205社（オンライン）

■開催内容

今回で58回目の開催となるInter BEEは、「コンテンツ」を中核とし、コンテンツを「つくる（制作）」、「おくる（伝送）」、「うける（体験）」の全てを網羅したメディア総合イベントとして、幕張メッセでの展開を中心に、オンラインと連動した開催となった。

オンライン会場では、出展各社による展示製品／サービスの紹介や映像配信とともに、オープニング&キーノート、各種プレセッションなどを配信し、幕張メッセ会場の会期終了後は、アーカイブデータ配信期間とした。

本年の出展者数は810社／団体（うち海外37カ国・地域／423社）、幕張メッセ会場の登録来場者数は26,901名、11月1日～12月23日にオンライン会場の登録来訪者数は12,383名と総来場者数はおよそ40,000名の開催規模となった。

幕張メッセ会場の特別企画では、基調講演をはじめ、特別講演や企画セッションなどを実施。国際会議場で開催された「INTER BEE FORUM」では、世界のメディアにおける最新キーワード「コネクテッドTV」と「FAST（無料広告型リニア配信サービス）」をテーマとした「INTER BEE CONNECTED基調講演」を含む計5つの特別企画基調講演を行った。

また、国内最大のSRスピーカー試聴イベントとして、音響関連業界のみならず幅広くメディア・エンターテインメント業界から支持されてきた「INTER BEE EXPERIENCE X-Speaker（SRスピーカー体験デモ）」が、2年間の休止を経て3年ぶりに幕張メッセ・イベントホールにて開催され、大きな賑わいを見せた。

その他の特別企画において、「INTER BEE CONNECTED」では、先進テクノロジーから放送コンテンツの次の可能性を発信し、新たな進化に向けた提案や放送と新しいビジネスの互いの価値が発見できる場として展開した。

「INTER BEE IGNITION × DCEXPO」では、本年よりデジタルコンテンツ EXPOと融合し、先進映像技術や先端コンテンツ制作技術を広く発信。「INTER BEE CREATIVE」では、インカメラVFXを中心としたバーチャルプロダクションをトピックにして、関連機材を展示している出展ブースの紹介やピッチプレゼンを実施。「INTER BEE IP PAVILION」では、過去最多の関連メーカー・ベンダー40社が参加協力し、放送局の主要な設備がIP接続されたMOC（メディアオペレーションセンター）をイメージして展開した。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

「デジタルコンテンツ EXPO」を融合させた特別企画『INTER BEE IGNITION × DCEXPO』の実施

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

第59回民放技術報告会
全映協フォーラム 2022 in 幕張



エントランス



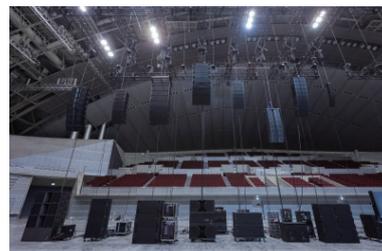
展示会場鳥瞰（一部）



INTER BEE FORUM 会場風景



企画セッションオープンステージ



SR スピーカー体験デモ